



写真1 北の丸公園

近隣史跡の紹介

北の丸公園

北の丸公園は、皇居に隣接する国民公園で、江戸時代に江戸城北の丸があった場所にあり、公園の名称はこのことに由来します。

江戸時代には、三代将軍家光の三男長松や、天樹院(千姫)、春日の局等の将軍の近親者や側近の有力譜代大名の屋敷があり、やがて徳川御三卿の田安・清水家の二家の屋敷地となっていくます。

明治時代からは近衛師団をはじめ陸軍関係の施設が置かれ、多くの建物が建てられましたが、戦後になり皇居周辺の緑地として活用されることが決定され、旧近衛連隊等の多くの建物は撤去され、森林公園として改修が進められました。

昭和30年代に桜が植栽された後、旧皇室園地に由来する国民公園皇居外苑の一部に編入され、昭和44年(1969年)に昭和天皇の還暦を記念して開園し、広く一般に公開されました。

都心でも有数のお花見の名所として、池や芝生の美しい緑あふれる園内にソメイシノなど約330本が植えられています。園内には、東京国立近代美術館、工芸館、科学技術館、武道館等多くの文化施設や田安門、清水門等の重要文化財があり、“歴史と自然の森”として、多くの皆さんに親しまれています。

参考文献

(一社)千代田区観光協会 ●URL <http://www.kanko-chiyoda.jp/tabid/212/Default.aspx>

環境省HP ●URL http://www.env.go.jp/garden/kokyogaien/1_intro/his_08.html

東京の観光公式サイト GO TOKYO ●URL <http://www.gotokyo.org/jp/index.html>



写真2 田安門

